

ライフプラン教育の充実にあわせて

人生100年時代を自分らしく生きていくために、職業、家族観、生きがい、暮らす場所などの将来像を描いたものをライフプランといいます。

高校生が、生涯を見通したライフプランを考えることは、人生の可能性をさらに広げることに繋がります。

人生の可能性を拓く



地域の未来を創る

「とやまの高校生 ライフプランガイド —未来をクリエイトしよう!—」の活用

目次

はじめに	1
① これからの私	3
② 自分らしく働く	5
③ お金のきほんを学ぼう	7
④ ライフスタイルを選ぶ	9
⑤ 私のセクシュアリティ	11
⑥ パートナーとともに生きる	13
⑦ 親になること	15
⑧ 子どもとともに育ち合う	17
⑨ 地域の子育てサポーター	19
⑩ いきいき生きる	21
⑪ 暮らしたいまちを創る	23
ライフプランを描こう	25
おわりに	26



4 ライフスタイルを選ぶ

あなたの家族は？と聞かれたら、誰を思い浮かべるだろうか。家族は多様化し、その捉え方は人によって様々である。人とのつながりをどのように築き、仕事、家庭生活、自分らしく過ごす時間をどう費やさせていきたいのかを考えてみよう。

1 いろいろな暮らし方



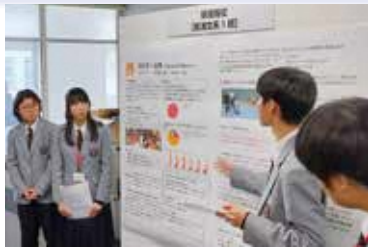
2 自分自身のウェルビーイングに向き合う

図表4-1 将来大切にしたいこと (percent)

項目	割合
健康で長生きすること	70%
家族や友人と過ごすこと	65%
趣味や特技を伸ばすこと	55%
収入を増やすこと	45%
環境を良くすること	40%
旅行や海外旅行すること	35%
新しいことに挑戦すること	30%
読書や勉強すること	25%
ボランティア活動すること	20%
ペットを飼育すること	15%
海外移住すること	10%

・結果は、誰と暮らしたいですか。暮らし方や家族のカタチは様々ですが、あなたにとって「理想の家族」と呼ぶものはありますか。

ライフプラン教育から 探究的な学びへ



多様な生き方にふれ、 自分の理想とする人生の 実現につなげよう

富山のデータを掲載し、ライフイベントをたどりながら、未来の自分について考えを深められるページ構成

ライフデザインセミナー

多様な地域人材から、ライフキャリアや将来をよりよく生きるために必要な知識や情報を学び、ライフプランを主体的に考えるきっかけとします。

▶ 自分らしい生き方を実践している 地域の方によるセミナー

講師の方の 声

講師として話をし、高校生の思いを聞く中で、生徒諸君の向上心を感じ、心強く思いました。

常に前向きに挑戦して、悔いのない人生を送ってほしいです。




高校生の感想

- 「全ての人に可能性がある」と言われたことに心打たれました。
- 僕も、自分の人生を堂々と語れるような生き方がしたいです。
- 定年は人生の第一線を退くことではなく、そこからまた始まるのだと思いました。

▶産婦人科医等の専門家によるセミナー





高校生の感想

- 自分のことも相手のことも大切にしなければならぬと思いました。
- 妊娠・出産はいつでもできるわけではないと知り驚きました。
- 家庭の形や子どもをもつ時期など、パートナーと考えを共有し、最適な形を実現していきたいと思いました。

ライフデザインセミナー
講師

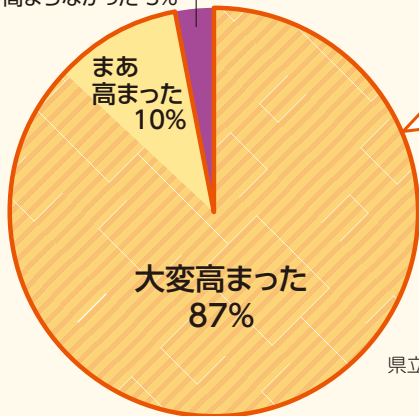
- Uターンして富山で起業した方
- 富山の特色ある企業の人事担当者
- 産婦人科医や助産師等の専門家
- いきいきと地域で活躍する高齢者や障害のある方
- ボランティア活動のネットワークを形成している方
- ライフプランに知見の深い大学教授 等

赤ちゃんふれあい体験

学校等に赤ちゃんを保護者を招き、子育ての楽しさや命の尊さを学びます。

乳幼児への関心が高まったか

あまり高まらなかった 3%




ほとんどの生徒が「乳幼児への関心が高まった」と回答

県立T高校1年生 150名 (R7 調査)

【実施校数】R7：24校 1,658名参加





高校生の感想

- 赤ちゃんは、家族の幸せが一層深まる大切な存在であると感じました。将来、自分に子どもが授かったら、責任をもって育てていきたいです。
- 小さな命の重みを感じました。自分も周囲の人たちから大切に育てられたということがわかり、感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。



子育て支援センターの方の声

参加された方からは、「高校生と交流ができて、私も子どもも楽しい時間を過ごせた」「自分の子育てを振り返る良い機会となった」という声が、よく聞かれます。

(1児の父 小矢部市在住)

卒業生の声

高校生の時、赤ちゃんふれあい授業でまず思ったのは「かわいい、自分も親になりたい」でした。お母さんの話を聞いて、親になることは覚悟が必要なこと、そして夫婦で協力していくことが大事なのだと思いました。

だから自分が実際に親になった時、少しでもママの助けになろうと努力できました。育児は聞いていた話より何倍も大変ですが、それ以上に嬉しいことがたくさんあります。

保育体験

- 乳幼児の心身の発達や集団保育の役割について学びます。
- 子どもが、生活と遊びの中で人との関わりを通して育つことを理解します。



高校生の感想

- 遊びを通して、子どもたちの協調性や集中力、創造性の高さに驚きました。保育士の方は、子ども一人一人の性格を理解し、同時に複数の子どもたちのお世話をされていて、すごいと思いました。今回の経験で学んだことを生かし、保育士を目指して頑張りたいです。
- 子どもが苦手で、最初はあまり気が進みませんでした。慣れてくると園児の方からたくさん話しかけてくれて、思いがけず楽しい時間になりました。子どもは素直でかわいらしく、それぞれ個性をもっているということがわかりました。

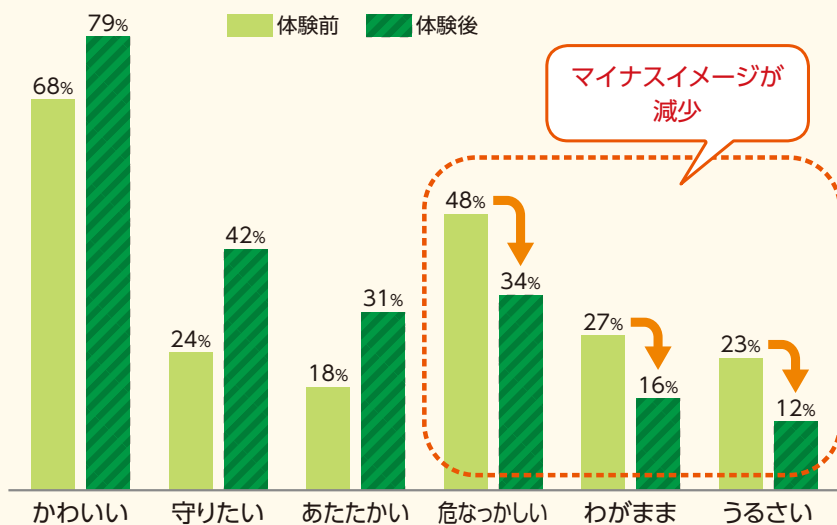
【実施校数】R7：26校 2,064名参加



保育園の方の声

核家族化や少子化が進む現在、高校生とふれあう体験は園児にとっても大変貴重なものとなり、いつもとは違う一面も発見することができました。このような体験の場を提供し、次代を担う子どもたちを共に見守っていきたいと思います。

体験前後の乳幼児に対するイメージの変化



県立T高校1年生 155名 (R7 調査)



卒業生の方の声

(3児の母 南砺市在住)

高校の家庭科の授業で、お腹の中の赤ちゃんの動画を見たときのことが今でも印象に残っています。私は、赤ちゃんや保育所の子どもたちとのふれあいから、子どもに関心を持ち、保育士の道に進むことを決めました。

問い合わせ先 ▶ 富山県教育委員会教育みらい室 県立高校課 TEL 076-444-3450